

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)9月16日
所 属 名:東近江農産普及課
番 号:D25016
発 信 者 名:西村

有事に備え、特定家畜伝染病防疫研修会を開催

特定家畜伝染病や防疫対応の基本的な内容を理解することで、特定家畜伝染病の発生時に適切な対応がとれるよう、東近江現地対策本部を構成する所属長および職員のうち、新規採用や異動等により東近江地域に配属された職員を対象に、9月9日に特定家畜伝染病防疫研修会を開催し、34名の出席がありました。

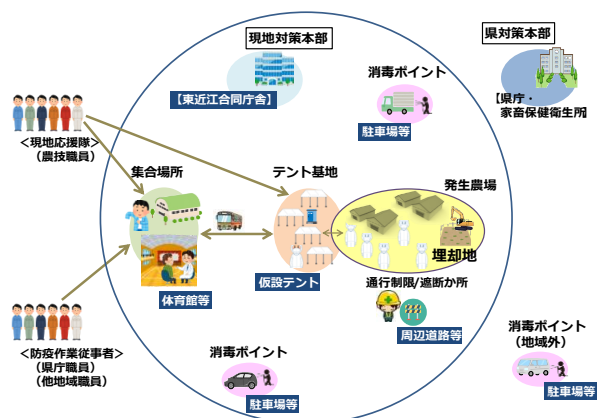
県内で特定家畜伝染病が発生した場合、県はまん延防止のための防疫対応にあたることになっています。家畜の飼養頭羽数が多い当地域では高病原性鳥インフルエンザが令和2年12月に、豚熱が平成31年2月と令和3年10月に発生し、防疫措置を実施したところです。

研修会では、①東近江地域の家畜飼養状況、②特定家畜伝染病の概要と最近の発生状況、③なぜ、県職員が防疫措置を行うのか、④東近江地域の職員として、地域内発生の場合は何をするのか、地域外発生の場合は何をするのかについて、当課職員がスライドを使って説明しました。

この研修会により特定家畜伝染病に対する危機管理、防疫措置への意識の高揚を図ることができました。今後も有事に備えた体制の強化を進めます。



研修会の様子



体制イメージ